

# 令和5年度 地域包括支援センター 事業評価の結果について

川越市福祉部地域包括ケア推進課

# 概要

## 目的

---

地域包括ケアシステムを推進していくためには、地域包括支援センターの機能強化は重要な課題であり、地域包括支援センターがその機能を適切に発揮できるよう地域包括支援センターごとに業務状況を明らかにし、それに基づいて必要な機能強化を図っていくことを目的としています。

## 地域包括支援センター評価指標

---

地域包括支援センターの機能を向上させるためには、市町村と地域包括支援センターの連携強化が欠かせないことから、地域包括支援センターの評価においては、地域包括支援センターに対する評価を行うこととあわせて、市町村の関わりについて、国により策定された全国で統一した評価指標に基づいて点検を行います。

また、評価項目については、大きく分けて7項目あり、その項目ごとにより詳細な質問に答えていく形式となっています。

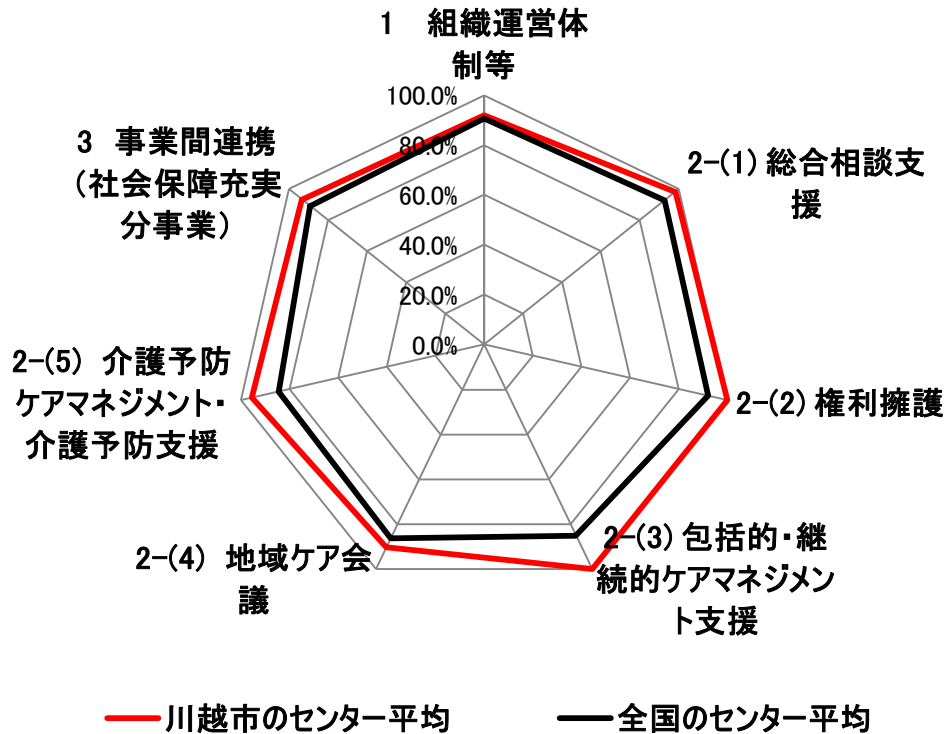
## 調査時点

---

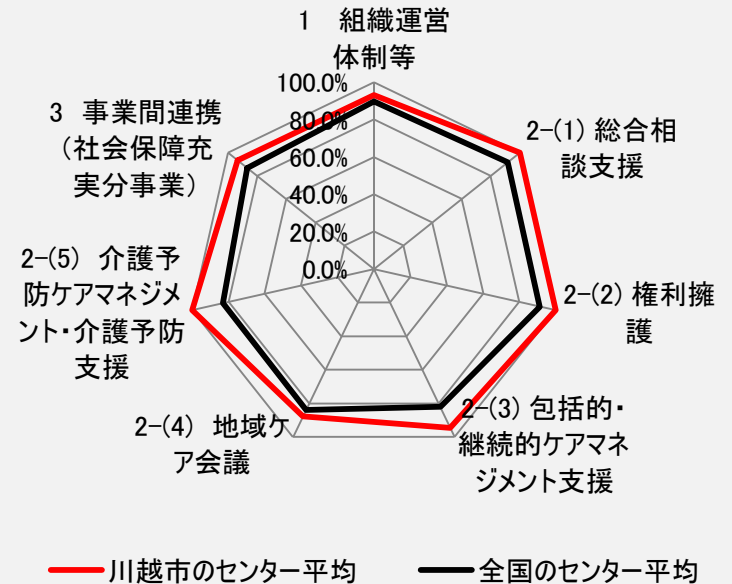
令和5年4月30日現在

# 川越市のセンター平均と全国のセンター平均の比較

令和5年度



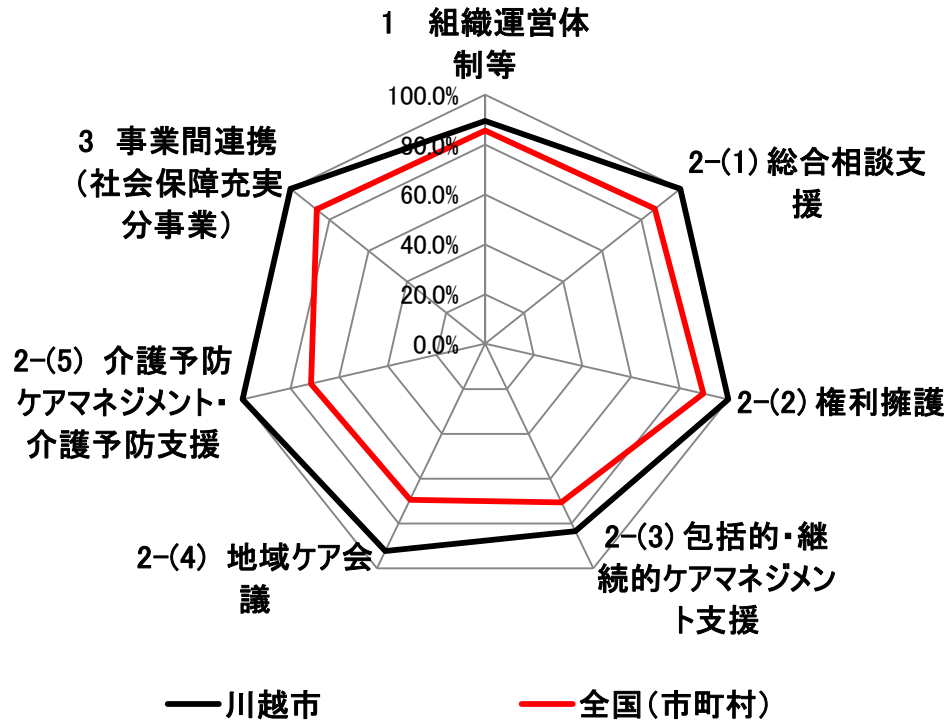
令和4年度 (参考)



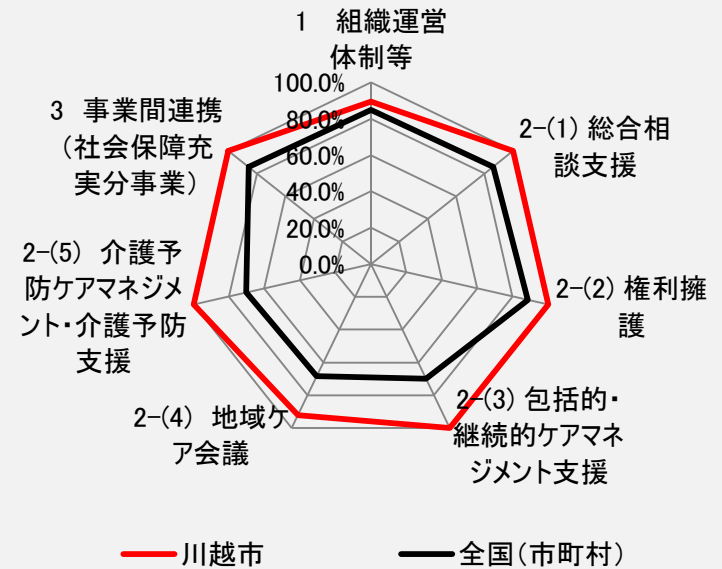
- 令和4年度に引き続き、全項目において、川越市の9つある地域包括支援センターの平均値は、全国の平均値と比べ、全項目において上回っていました。
- 全項目において、実施状況に大きな偏りもないため、概ね良好な実施状況であると考えられます。

# 川越市と全国（市町村）平均の比較

令和5年度



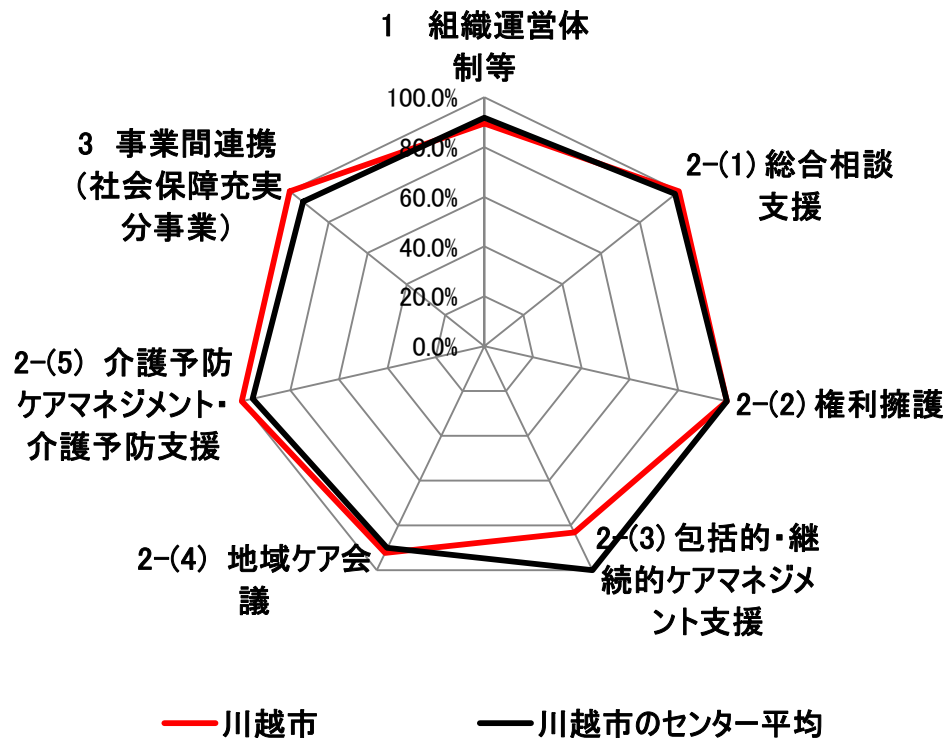
令和4年度（参考）



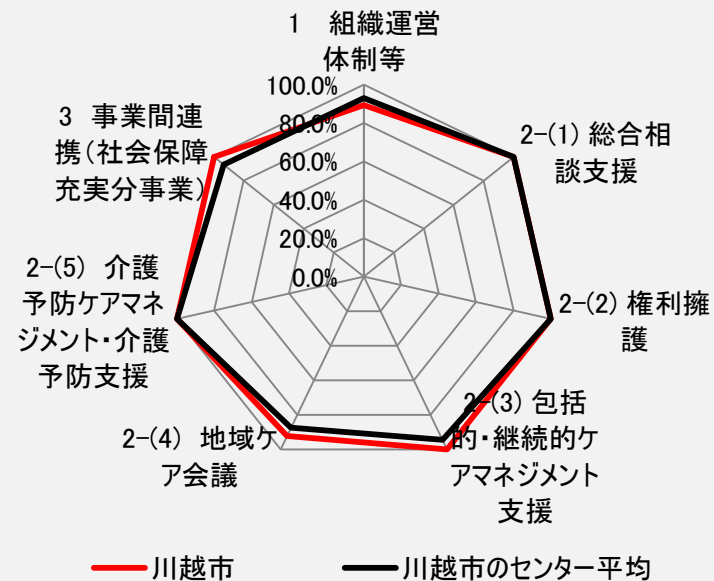
- 令和4年度に引き続き、全項目において、全国平均を上回っていました。

# 川越市と各センターの平均

令和5年度



令和4年度 (参考)



- 令和5年度において、川越市の取組と地域包括支援センターの取組に差は、ほぼありませんでした。
- 今年度、川越市と地域包括支援センターとで情報共有しながら、互いに同じ目標、目的に沿って事業の展開ができていたと考えております。

## まとめ

- 相談件数は増加傾向になる中、センター長会議や地域支援事業に係る活動報告会などを通じ、市と情報共有を行い、相談内容によっては、関係部門と連携しながら対応してきた。
- 地域の活動については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症になり、徐々にではあるが、再開し始めた。コロナ禍においても、地域包括支援センターは、地域の情報収集につとめていたため、5類移行後、再開に向けた住民からの相談も多く、丁寧に対応し、自主グループやオレンジカフェがほぼ再開することができている。
- 今後も、地域の実情に応じた事業が実施できるよう、市と9つの地域包括支援センター間での情報共有に努め、取り組んでいきたい。